

**R-18**  
ADULT ONLY

魔女の乳宴



わたしはモルガン・リズリー。  
いつか大魔導師になりたい新人ソーサレス。  
またまた新米だけど、  
冒険者になってかれこれ数ヶ月が経った。

頼りになるアマゾンさんや  
可愛いエルフちゃんやシヨタ盗賊が  
仲間になってくれると聞いたけど

でも…

どうして私の目の前に  
現れたのは臭くて筋肉隆々の  
おっさんばかりで、  
盗賊もヒゲが生えている  
チャラい男なの…？

名前知らない下ツツのおしさん

自願太監職下ツツアイトさん

頭無さうな勇士ローランさん

こゝこめんなさい。  
ちょっと小の方  
に行きたいですけど…

んっ…

むっかん

もっかん

もっかん

えーと、その…

おしっこの所も見ない  
てくださいよ…毎回  
毎回はずかしい…

何言ってるの。チームの  
大切な魔法使いじゃないか。  
奇襲にでも遭ったらやばいよ。  
大丈夫。小便でも大便でも  
ちゃんと見てるからね。

ふう…ひどいよ。  
もう言わないで…

もうパンツを履かないのも慣れてるのか。  
とんだ好きものだね

ブル

ブル

アアアアアア

嫌はずなのに…  
でもどうして快感を覚えて  
しまったらう…?

ち…乳首がもう  
こっそりと立っている…

ああ…私ってもう変態女  
に調教されてしまった  
だろうか…

ビチャ

ビチャ

あ

はもう  
たたくに  
はっているから、  
街の温泉に戻って  
りゃんと綺麗に  
しまっ。

あ、はい。

んん…こんなの…

お風呂まで一緒なの？  
デリカシーが無いですよ  
こっちは女の子なので。

がぁあ

はあ？何回も言ったけど、  
お風呂はチームメイトがらまで  
裸にしてふれあう場所なんだから。  
自分じゃ洗えない場所もある  
だろ？

んん

はー

ああ。それがソーサレスの  
しるしだから。  
ちゃんと被ってね。

えーと、帽子は…？

あは

来た来た。モルちゃん  
大好きな噴霧入り  
ホテイソープ。

へへっ。  
この美しい艶やかな  
髪もちゃんと  
洗わないと。

んあっ…そんなに乱暴し  
ないで…臨下が擦られて痛いよ…

うひ、ちんこに溜まった  
数日分の垢垢もちゃんと  
出したな。

さっ言わずに。ほりこいで  
汚れてる所がちゃんと綺麗に  
なったじゃん。

ほりっつとやらモルちゃんが  
髪チンコを気に入ってたようだな。  
もっとなめていいよっ

んあ…は…せうしきき  
頭がおかしくなっちゃいそう…



んはー間抜けな顔を  
しやがって！もう完全に  
夢中になってるな。

んほ…ひとい…  
ひといよ…

私の鼻と頬をおもちゃに  
して遊んでる…



へへ…もりちゃんのこのデカ  
パイもちちゃんと揉んで  
洗わないと。

！？痛つ…ちよつと  
いきなり乳首を引つ張ら  
ないで！

乳首がいい感じに固く  
なってるぬ。ほろほろ〜  
汚いのを全部洗おうぜ。

んぎんぎん  
いっくわくわくわく

ガッ

ガッ

びび  
ぐあ  
あああ

へっ…潮を吹きやがって  
完全に発情してるな。  
おしさんも我慢できず  
一回射しちゃったよ。

あああ…  
臭くて濃い精液…  
ドロドロでさっ…

これも美容にいいから  
無駄にしちゃだめよ。  
ちゃんと塗ってあげる  
からね。

よし、次はあそぶを  
洗うからね。ちゃんと  
教えてあげるわっ

はい…





ふう。汚いものが全部綺麗に  
したな。あとはモルちゃん  
大好きな肉棒の時間だぞ。

あああ…熱い…お尻と  
おまんこが焼けちゃう…!

くへへ…ブラシに付いて  
いる噴薬で痒くて仕方が  
ないだろ?

用器がいい?  
勇士ローランのテクチン  
モカチカチになってるよ。

んあ、あ…チンポ…  
チンポお〜モルちゃん  
に太い肉棒をください  
ご主人様〜



はあーこの淫魔め、  
命心の一撃を喰ひんぞー！

ズ  
ズ  
ズ

びん

のほおつーおおおお

ド  
ド  
ド

ガ  
ガ  
ガ

ズ  
ズ  
ズ

ズ  
ズ  
ズ



いあああつ…  
開いたっ—!

お尻も大腸も肉棒に揺き  
回されいやらしい音が  
鳴っている…!

壊れちゃう…モルちゃんの  
テカ尻が壊れてしまいそう!!

これ。気持ちいいろっ?  
この乳首もびーんと  
立っていて。

あひつ、乳首が  
ちぎられてしまいそう…  
もう赤ちゃんにおっぱい  
あげられないよっ!

カッ

カッ

ガッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ



いいね。じやんじやん  
俺らも文ええるが。俺の息子  
はもう痛いほど硬く  
なっているからね。

ちっ。楽しきうたね  
あいつら。俺らも  
忘れるんじやないぞ。

へっ、焦るな。肉棒一本  
だけではこのすけへを  
満足させん。

んはは。  
心配すんな。もう  
用意はできてる。



うお、モルちゃんの変態穴  
がもう大洪水じゃない。  
早く塞げないと。

ああ、恥ずかしいから  
それ言わないでー



んっこの豆が  
段々腫れて大きく  
なってるな。汚れている  
じゃないのっ



こじや徹底的で洗い  
ないことためだねー



お尻とおまんこが無残  
にシイフされてる！

ひい！ーくりちゃん  
にもそんなに…ロモ  
臭いちんちんでいっばい  
になって…





びおおおおおおおー！  
あつー！ナカに精子が  
あつー！で、中が注がれているー！

カツ

カツ

カツ  
カツ  
カツ

カツ  
カツ  
カツ

カツ

ゴッ

ゴッ  
ゴッ

カツ  
カツ

カツ  
カツ

カツ  
カツ

カツ  
カツ

カツ  
カツ

カツ  
カツ



あは…はあ…一滴残らず  
全部受け取ってね。  
これで肌が潤うから。

ご主人様の臭い精液を  
まみれて…モルちゃん  
幸せ。

あ…ありがた  
うですませ

ふふ…じゃそのヒロイロ  
でこいつを清掃しな。

きんきん、最近流行ってる  
あの呪文を言ってるからな。

ずっり

ドロドロ…



はいご主人様。モルちゃんの  
柔らかい舌でお掃除致します…

んんん

んんん

んんん

モリンモリンマソボンバー  
可愛いデカチンに誓います。  
モルちゃんがずっとご主人様の  
淫乱便器で…♥



このように、熾烈な争いが繰り広げているこの大地の背後に

こっそりとアンダーグラウンドでは猥褻な行為が行われている…

例えば…

優しくて慈愛を溢れているハイランド協会のシスターは、民に敬慕されて続けているが、カナン神父が来てからは、すべてが変わった。

「へへっ、今晚もちゃんどご主人様をご奉仕するんだな。」

「ご主人様のデカチンは。こんなに巨しく舐めて。さすがメス豚の齧齧を持つ者なんだね。」

「はい……ご主人様の美味しい聖汁で私の乱れている魂を浄化していただきます……」

調教を受けて自然に男を誘う身体になってしまい、深夜になると疼き始めて我慢ができなくなる。

「このメス豚のケツがだいだい欲しがってるじゃないの。リスムに合わせ自分で挿りゃかって……」

「ん……ん……」

濃くて鼻までツーンと来る味……喉にも詰まる濃厚な精子が毎日飲み続けて……

ああ……気持ちいいよ。神よ私の汚れている肉体をもっと罰してください……」



まだ平和の一日が来た。城のある寢室に、  
王ロビアンが深い眠りに付いている。  
幼い頃から王ロの成長を見守っているウスタフ卿は、  
誰よりもこの華奢な肉体を欲しがっている。

「ふひ…今日も睡眠薬が効いている…  
萬人に敬愛されている王ロがこの姿が見られたら  
大変だからね…」

「熱い…おじさんが  
涙に…あけるからね…」

「ん…ちやるる…王ロ様は舌まで可愛いよ…  
自分から吸い付いて…」

「今ロもおじさんの睡を…  
吸まわ…あけるから…」

「んは…たまらないな。また夜が長いから、  
あと15回挿れないとお勧めが終わらないよ…」

「んほお…国の王ロが処口じゃなきゃ大変な事になるけど、  
優しいおじさんが先に立ってお尻に口の悦びを教えちゃっけよ。」

「お尻…お尻は…お尻が…  
いい感じも知ってるのかな？」



## あとがき

お買い上げありがとうございました。桃吹と申します。  
1冊まるごと自分で作ることが初めてなので緊張していましたが、  
題材の選択は結構早めに決めていました。

ただ内容については結構悩んでいました。もっとキャラや内容を取り入れようと思っていましたが、時間とページ数の制限で今の形になっています。メインキャラ以外NPCキャラについても想像して作ってみました。

このような本になっていますが、楽しんで頂いたら幸いです。

また、PIXIVの方(id=681464)にもイラストを掲載しておりまして、  
ヒット出版社の雑誌、コミック阿吽に漫画の仕事も持っています。  
是非ご覧になってください。

また何卒宜しくお願いします。

桃吹リオ

# 魔女の乳宴

発行者 OnceOnly

発行日 2013年12月30日

印刷所 株式会社 栄光

著者 桃吹リオ

翻訳 まんじゅう (<http://blog.livedoor.jp/zdaraindays/>)

■18歳未満閲覧禁止

■無断複製・転載・配布等禁止

